

コンプライアンス

コンプライアンス基本方針

当社グループは、高いレベルの企業倫理を実践するための指針として、「コンプライアンス基本方針」を制定しています。方針では、「企業行動規範」と「行動基準」を定めており、全ての役員、従業員に適用しています。

企業行動規範は経営理念「仕濾過事」のもと、高い水準のコンプライアンス意識を保ち、社会から信頼される企業となるべく行動の基礎となる考え方であり、行動基準は企業行動規範に基づき、全ての役員および従業員が日々の業務で認識すべき行動の基準です。

[🔗コンプライアンス基本方針](#)

■ 研修と社内浸透

コンプライアンス研修は、当社の役員および全ての従業員が年に2回受講し、入社時研修においても必ず実施しています。また、コンプライアンス基本方針は、イントラネットで常時掲示しているほか、行動基準や就業規則にはあらゆるハラスメントの禁止について織り込み、一層の周知を図っています。

➤ 2024年度のコンプライアンス関連研修実績

研修テーマ	対象者	参加人数(名)	実施回数(回)
インサイダー取引	本社、 アクシー従業員	361	2
PL(製造物責任法)と リコール	開発本部の 従業員	51	1

マネジメント体制

当社グループはコンプライアンス基本方針に基づき、取締役会においてコンプライアンスに関わる重要事項の決定などを行い、コンプライアンス委員会にて実施案の検討をしています。同委員会は、社長、本部長、内部監査室長で構成され、年2回実施しています。また、グループ会社の業務執行のリスク監視・モニタリングは「業務監理委員会」で実施しており、事業部門や子会社における法令違反を含むさまざまなリスクに対しプロジェクト単位で対応しています(P.39参照)。このようにグループ会社において法令遵守や適切な販売や会計管理などが行われるよう、各子会社への現地監査の実施だけでなく、子会社規程の見直しやグループの重要な規程に関しては国や地域での違いを踏まえ、共通化を進めるなど体制を強化しています。

内部通報制度

当社グループはコンプライアンス違反に関する情報を速やかに収集し、問題を未然に防止、対策を講じることを目的として、内部通報制度を運用しています。コンプライアンス違反だけでなく、従業員による企業倫理違反も通報の対象としており、社内にはイントラネット、社外には外部法律事務所に通報窓口を設置しています。「内部通報管理規程」では、通報者の保護および通報者への報復行為禁止を記載しており、通報者は匿名でも通報でき、通報を理由に不利益な取り扱いを受けないよう措置を講じています。

通報があった際は、通報者から具体的な違反行為な

ど、必要な情報を聞き取り、調査を行います。その調査結果を踏まえ、関係者に確認の上、是正措置を講じることや職務権限規程に従った懲戒処分など社内処分を行う仕組みとなっています。また、再発防止のためモニタリングも実施しています。

内部通報件数	(件)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
本社、佐賀事業所、 横須賀イノベーションセンター	2	0	0	0	1
セブ工場	—	0	0	0	0
ベトナム工場	—	—	—	0	0

腐敗防止への取り組み

当社グループのコンプライアンス基本方針には、対等・公正・透明な取引関係を重視し、不当な接待・贈答など、独占禁止法に違反する行為および反社会的勢力を含む社会勢力からの不当な要求には断固として拒絶することを明記しています。このコンプライアンス基本方針に基づき、企業の信頼性を損なう腐敗・贈収賄行為や一般的なビジネス慣習を逸脱した行為を明確に禁止し、事業を展開する国や地域において関係法令に則った対応をしています。取引において節度を越えた接待や贈答を受ける・行うことのないよう、稟議申請や経費精算などの社内手続きにおいて上長によるチェックを必ず行っています。

2024年度は腐敗行為による対応への支出および政治献金支出はありませんでした。これまでに腐敗行為を起因とした懲戒・解雇をした社員はいません。